

2016年度（平成28年度）

コース名 化学コース

領域名 機能物質化学領域

教員名 柳澤 章

電子メール ayanagi 理 faculty.chiba-u.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・号	頁	発行・発表 年等	掲載論文の DOI(付与さ れている場合)
(1)	M. Hasegawa, K. Yoshida, <u>A. Yanagisawa</u>	Enantio- and Diastereoselective Cross-Annulation of Enal and Ketone with New Chiral Bicyclic N-Heterocyclic Carbene Catalysts	<i>Chem. Lett.</i>	Vol.45・ No.3	pp.294-296	2016	10.1246/cl.151116
(2)	<u>A. Yanagisawa</u> , S. Yamafuji, T. Sawae	α -Selective Allylation of Isatin Imines Using Metallic Barium	<i>Synlett</i>	Vol.27・ No.13	pp.2019-2023	2016	10.1055/s-0035-1561450
(3)	<u>A. Yanagisawa</u> , Y. Lin, A. Takeishi, K. Yoshida	Enantioselective Nitroso Aldol Reaction Catalyzed by a Chiral Phosphine-Silver Complex	<i>Eur. J. Org. Chem.</i>	No.32	pp.5355-5359	2016	10.1002/ejoc.201601143

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 4名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

- ・なし

(4) 国際会議出席と招待リスト

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体，報道年月日，報道内容等）

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名，その内容，受賞理由等）

(7) 国際共同研究（共同研究名，研究内容等）

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動，学会、国、県などへの協力，など

・委員会などの名称とその役割を記載：書式自由

1. 有機合成化学協会関東支部副支部長.
2. 有機合成化学協会事業委員.
3. 日本学術振興会国際科学研究費委員会専門委員

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)